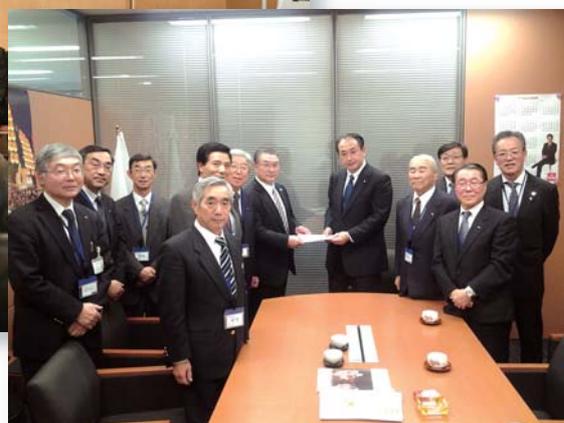


秋田の土地改良



「農業農村整備の集い」開催される！ — 予算復活に向けて —

全国国土里ネット主催の「農業農村整備の集い」が1月17日、東京都平河町の砂防会館別館「シェーンバッハ・サボー」で開催され、全国から国土里ネット関係者ら700名と、来賓として国会議員111名が出席した。

「集い」は、平成22年度から大幅削減となった事業予算に対する厳しい現状と課題を踏まえ、農業・農村の重要性と、それを支える農業農村整備の役割を広く国民にアピールし、新たな農政の発展について認識と決意の高揚をはかろうと、4年ぶりの大規模な開催となった。

当日は、全国国土里ネット野中会長の挨拶、集い開催以来、現職として初めての出席になる農林水産大臣の祝辞に続き、情勢報告、事例発表が行われ、終わりに農業農村整備予算の大幅復活と震災からの復旧・復興を加速的に進めることなどを盛り込んだ要請書が満場一致で採択された。

本県からは、高員会長を始めとする国土里ネット秋田の役職員、国営事業を実施している各土地改良区理事長並びに土地改良政治連盟役員などが参加。集い終了後は、本県選出の国会議員への要請活動を行い、農業農村整備予算の復活と、各種施策の着実な推進を強く要望した。（採択要請項目は次のとおり）

なお、同日開催された事務責任者会議では、予算関連の説明が行われ、平成24年度補正予算として2,540億円【農業農村整備事業1,640億円、農山漁村地域整備交付金900億円】。平成25年度当初予算では、3,814億円【農業農村整備事業2,997億円、農山漁村地域整備交付金64億円、地域自主戦略交付金返戻分754億円】が政府案として示された。補正予算と25年度当初予算合計6,354億円は、平成21年度と比べ109%となることから、予算復活に明るい兆しが見えてきた。



要 請 書

農業・農村は、^{おおもと}国の大本であり、日本の豊かな国土や自然環境も、農業・農村が健全であって初めて維持されるものである。このため先人達は、農業・農村の健全な発展のために、農地や農業用水路などの維持、向上に向け、献身的な努力を続けてきた。

しかしながら、平成22年度における農業農村整備予算の大幅な削減によって、我が国の農業・農村は将来に大きな不安を抱えることとなった。

さらに、東日本大震災は、先人達の努力の結晶を破壊し、被災地域の農業・農村に大きな爪痕を残した。現地では、一刻も早い復旧、復興を強く望んでいる。農業水利施設の老朽化も進行しており、食料生産の増大、転作作物への転換に影響を及ぼし、食料自給率の向上に支障を来すばかりでなく、農村地域における災害の増加をもたらすのではないかと危惧されるところである。

全国の農業・農村においては、過疎化、高齢化、担い手不足に加え、地域活力の低下などの課題が山積している。また、環太平洋経済連携協定（TPP）交渉如何によっては、日本の食と農業、美しい農村に甚大な影響を与えることが懸念されるところである。今こそ、集落営農を含む担い手への農地集積の加速化、経営規模拡大の実現によって、新たな地域農業を切り開いていく必要がある。

更には、自然再生エネルギーへの国民の関心が高まり、農村の土地・水資源を活用した小水力発電等への期待が大きくなっている。

現下の農業農村整備を巡る厳しい現状と課題を踏まえ、全国各地からの要望である下記事項の実現を強く要請する。

記

25年度当初予算において、大幅に削減された公共予算としての農業農村整備予算を復活させること。その上で、以下の政策を実現すること。

一 国民の命を守り、我が国の食と農林漁業を再生するため、老朽化した農業水利施設の保全整備や耐震化の推進等の事前防災に万全の対策を講じること。

二 東日本大震災を始めとする災害からの復旧・復興に向け、農業用施設、農地海岸保全施設等の復旧や農地の瓦礫除去、除塩、除染等の対策を加速的に進めること。

三 食料自給率の向上と担い手への農地集積の加速化を実現し、攻めの農業を展開するため、水田の大区画化や汎用化、畑地かんがい施設の整備をはじめとした各種の対策を、国が責任をもって推進すること。

四 TPP交渉により、日本の食の安全・安心を担い、多面的機能を発揮している農業・農村とこれを支える農家の生産意欲に、悪影響を及ぼすようなことは断固行わないこと。

五 農業水利施設を活用した小水力発電等の再生可能エネルギーの普及に向け、国の支援の充実を図ること。

平成25年1月17日

引き続き、予算獲得並びに更なる事業推進に向けて役職員一同
頑張りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

会 長	高 貝 久 遠	秋田県田沢疏水土地改良区理事長
副 会 長	工 藤 久 兵 衛	井川町土地改良区理事長
〃	三 澤 敏 行	北秋田市綴子土地改良区理事長
専務理事	黒 子 高 夫	学識経験者
常務理事	水 戸 憲 光	学識経験者
理 事	齊 藤 滋 宣	能代市長
〃	横 山 忠 長	にかほ市長
〃	松 田 知 己	美郷町長
〃	田 口 信 一	かつの土地改良区理事長
〃	正 木 正 一	大内土地改良区理事長
〃	柴 田 康 二 郎	秋田県雄物川筋土地改良区理事長
〃	由 利 傳	湯沢市中央土地改良区理事長
総括監事	畠 山 清 俊	比内町土地改良区理事長
監 事	鈴 木 順 平	八郎潟西部干拓地区土地改良区理事長
〃	藤 井 弘 道	秋田県南旭川水系土地改良区理事長
技 監	石 井 正 幸	総務企画部長 猿 田 春 一
管理情報部長	池 田 与 嗣 広	農地整備部長 加 澤 隆 昌
		外職員一同

水土里ネット秋田 第55回通常総会(開催予定)

日 時：平成25年3月15日(金) 13:00～

場 所：秋田市文化会館 5F大会議室



●発行所 秋田県土地改良事業団体連合会 〒010-0967 秋田市高陽幸町3番37号
TEL 018-888-2750(代) FAX 018-888-2834
<http://homepage2.nifty.com/akidoren/>

